

伊予銀行のあゆみ

1878年	第二十九国立銀行設立 第五十二国立銀行設立		担保附社債受託業務の営業免許取得
1896	今治商業銀行設立	1987年	「いよぎん金融情報サービス」取扱開始 総預金2兆円達成
1934	豫州銀行設立（第二十九、八幡浜商業、大洲銀行合併）	1988	関連会社いよぎん地域経済研究センター、 いよぎんモーゲージサービス、いよぎんディーシーカードをそれぞれ設立
1937	松山五十二銀行設立（五十二、仲田銀行合併）	1989	初の海外支店 ニューヨーク支店開設 香港駐在員事務所開所 関連会社いよぎんスタッフサービス設立
1941	伊豫合同銀行設立（今治商業、松山五十二、豫州銀行合併）	1990	CI導入（企業理念の再構築、行名表示・シンボルデザインの変更）
1944	伊豫相互貯蓄銀行を合併（貯蓄銀行業務兼営）	1991	東邦相互銀行の救済合併を発表
1951	伊豫銀行と改称	1992	初の海外現地法人伊予財務（香港）有限公司開設 東邦相互銀行を合併 伊予銀行地域文化活動助成制度スタート
1952	大阪支店開設 本店新築落成	1993	いよぎん三番町ビル完成 伊予銀行日本橋ビル完成
1954	東京支店開設	1994	上海駐在員事務所開所
1960	外国為替公認銀行となる	1995	本店西別館完成
1963	預金1,000億円達成 松山市の指定金融機関となる	1996	関連会社いよぎん資産管理設立 香港支店開設 山西研修所完成
1964	愛媛県の指定金融機関となる	1998	川之石支店（第二十九国立銀行跡地）、 松山保養所（第五十二国立銀行跡地）に創業120周年記念碑建立
1968	体育センター竣工 本店別館新築落成 電子計算機導入	1999	富士貯蓄信用組合を吸収合併
1969	当行株式会社大阪証券取引所第2部に上場	2002	愛媛大学・松山大学に寄付講座を開講
1970	当行株式会社大阪証券取引所第1部に指定替え	2003	今治支店新築
1971	当行株式を東京証券取引所第1部に上場	2007	コンビニATMサービス開始 湊町支店で休日営業開始
1973	四国初のCDを本店営業部に設置 総預金5,000億円達成 海外コルレス業務開始	2009	本店南別館完成
1974	関連会社伊豫銀総合リース（現いよぎんリース）設立	2010	「いよぎん保険ブラザ」営業開始
1975	関連会社伊豫コンピュータサービス（現いよぎんコンピュータサービス）設立	2011	株主優待制度導入
1976	財団法人伊豫銀行社会福祉基金設立	2012	関連会社いよぎん証券設立 シンガポール駐在員事務所開所 総預金5兆円達成 インターネット支店開設
1978	関連会社伊豫信用保証（現いよぎん保証）設立 総預金1兆円達成。事務センター竣工	2013	単元株式数を1,000株から100株に変更
1979	関連会社伊豫銀ビジネスサービス（現いよぎんビジネスサービス）設立	2014	執行役員制度導入
1981	SWIFT（国際銀行間データ通信システム）稼働	2015	監査等委員会設置会社へ移行
1982	金売買業務開始 シンジケートローン（対外協調融資）に初参加	2016	「四国アライアンス」締結 シンガポール支店開設
1983	国債の窓口販売開始 「いよぎんバンクカード」発売開始 新情報サービス「IBNS」スタートレファームバンキング開始	2018	関連会社いよぎんChallenge&Smile設立
1984	TQC（全社品質管理）導入 4行（庫）CD提携「ふるさと共同サービス」開始		
1985	ロンドン駐在員事務所開所 公共債のディーリング業務開始 関連会社伊豫銀キャピタル（現いよぎんキャピタル）設立		
1986	ニューヨーク駐在員事務所開所 関連会社伊豫銀投資顧問設立		